



Q33

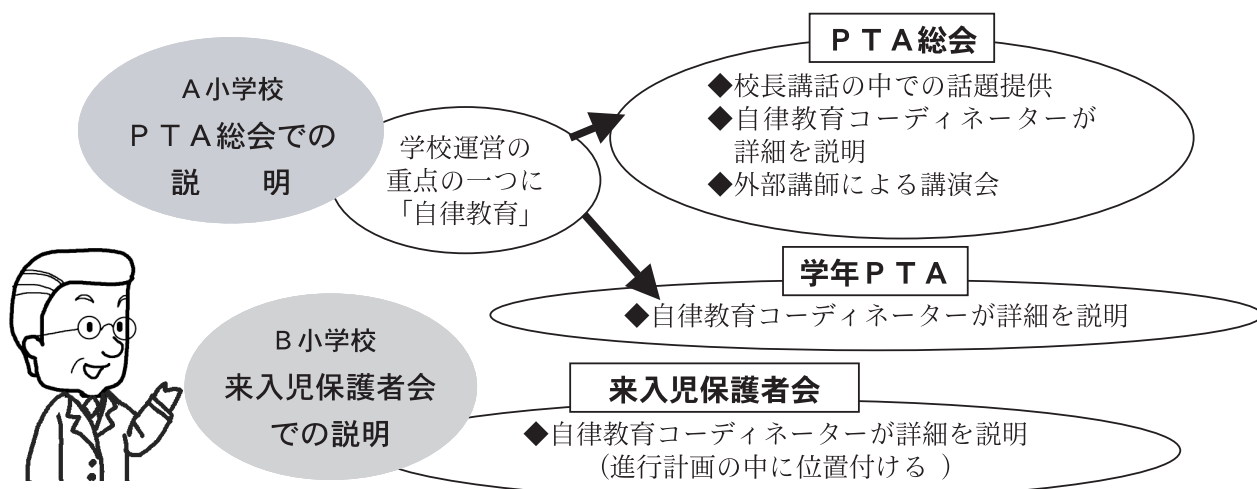
障害や校内支援体制等に対する PTAの理解を得るには？

まずは
ここから



- 個に応じた支援の大切さが実感できるように心掛けます。
- 知識だけに終わらない、心を耕す啓発活動にします。

PTAと連携した自律教育に関する取組の幾つかを紹介します。



《掲載例》

「すべての子」のための自律教育

行ったことのない場所に行かなくてははいけないとします。皆さんは、どちらの説明が分かりやすいでしょうか。

- ① 進む道順通りに、目印や進行方向を説明してもらう。
- ② 地図を広げ、現在の場所と目的地を示してもらう。

人によって、①と②で分かりやすさが違います。これを学習の仕方に当てはめると、「学び方」の違いだと言えます。決して優劣を示すものではありません。

「自律学級」では、一人一人の「学び方」に合わせた学習を一番大事にしています。この考え方を「すべての子」にも広げていこうというのが、自律教育の発想です。

是非、お子さんに合った「学び方」を把握してみましょう。

C小学校
PTA新聞の
活用

PTA新聞

自律教育講演会（郡市）

企画内容

- ◆ 講師：専門機関の方に依頼（4月中に）
- ◆ 講演会の対象：郡市内の教職員・保護者
- ◆ 講演会の後半：全体の場での事例相談
- ◆ 講演会終了後：講師との個別の事例相談

D小学校
講演会への
参加



【キーポイント】 さまざまな場面で理解啓発を行い、障害のある子どもの保護者だけでなく、すべての保護者が関心をもてるようにすることが必要です。